

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 7 年 11 月 25 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

3 番議員 氏名 葉狩 拓也

質問題名	多治見市制記念花火大会、初の秋開催を振り返って
質問要旨	本市の夏を彩る恒例行事である「多治見市制記念花火大会」は、これまで市制施行日に近い夏の日曜日に開催され、市民にとって夏の風物詩となっていました。しかし令和7年度は初めて秋開催となり、11月8日に土岐川河川敷で打ち上げが行われました。澄んだ夜空に咲く花火は多くの来場者から好評を得た一方で、寒さへの懸念や「みんなでてりゃあ夏祭り」との連続性が失われるなど、新たな課題も生まれたと感じます。今回の秋開催を振り返り、その経緯や評価を検証するとともに、来年度以降の開催時期や祭りとの関係性をどのように位置づけていくのか市の見解を伺いたいと思います。
質問項目①	今回秋開催に至った経緯について ① 今回、秋開催に至った具体的な経緯や判断理由は何だったのか。 ② 実行委員会の中でどのような検討過程があったのか、市として把握している内容をお示しください。
質問項目②	秋開催の評価検証について ① 今年の秋開催は市民や来場者から概ね好評であったと伺っていますが市として秋開催をどのように評価しているのか。 ② 観客数や経済効果、防災・安全面など、夏開催と比較した際のメリット・デメリットをどのように評価しているのか。 ③ 開催時期に関して特に寒さへの対応や防寒対策について、市としてどのような課題認識を持っているのか。 ④ 秋開催になった事により、実行委員会や職員の準備・運営の負担は例年と比べてどのように変化したと認識しているのか。

質問項目③	今後の展開、来年のスケジュールについて ① 来年度の開催時期について、市として実行委員会とどのような協議を行っているのか、またそのスケジュールは。 ② 夏開催と秋開催のどちらが市民にとって望ましいか、また観光資源として効果的かそのような検証は市として行っていくのか。 ③ 現在の予算規模で、今後も花火大会を安定的に継続できるのか、また継続するためにどのような課題があるか。
質問項目④	「みんなでてりゃあ夏祭り」への影響について ① 花火大会の秋開催は「みんなでてりゃあ夏祭り」にどのような影響を与えたと認識しているのか。 ② 夏祭りの集客や経済効果に変化はあったのか。 ③ 今後両イベントを今年のような「夏、秋と分離開催」とするか、また「秋のイベントウィーク」として再編する等の検証・検討はしていくのか。また両担当課で協議していく事はあるか。
質問の相手方	市長・経済部長・環境文化部長